

受講申込み

◆受講対象企業

資本金、従業員数のいずれかが下表の範囲であれば対象となります。

業種	資本金	従業員数
製造業・建設業・運輸業 ソフトウェア業・情報処理サービス業	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
旅館業	5千万円以下	200人以下

※多くの研修には、自社の課題を分析する科目（演習）があり、受講者はその課題を持参いただくことが受講要件となります。ご対応いただけない場合には、受講をご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

◆研修の申込み方法

受講申込書にご記入の上、FAXでお申込みください。
三条校ウェブサイトからのお申込みも出来ます。

※応募者多数の場合、受講人数を1社3名までに調整させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載いただいた個人情報は、研修運営のため利用するほか、円滑な研修実施のため講師に閲覧させる事があります。また、研修をはじめ中小企業基盤整備機構が実施する事業に係る情報提供、アンケート、アフターサービスのため利用させていただく場合があります。

◆宿泊の申込み方法

宿泊をご希望の方は、受講申込書下段の入寮申込書に必要事項をご記入の上、お申込みください。

施設 宿泊室のほか、談話室・浴室・ビジネスコーナー（ブロードバンド対応）・体育室などがあり、快適な研修生活を送っていただけます。
また、女性受講者の為に、専用宿泊室を設けております。

寮費 1泊朝食付き2,300円（税込み）
※事前のご連絡なく宿泊をキャンセルされた場合、寮費を全額申し受けますのでご了承ください。

食事 昼、夕食食わせて1,300円程度

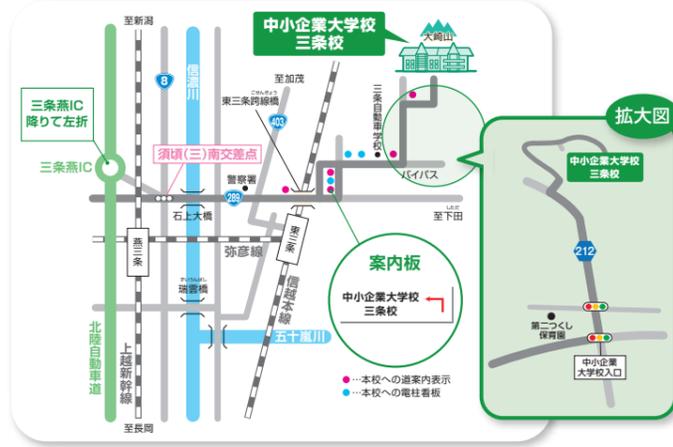
駐車場 無料（100台収容可能）

◆受講決定のご連絡

受講申込みをされた企業の連絡担当者様あてに、**開講1か月前頃を目途に**「受講受入決定通知書」と「受講料振込用紙」を送付いたしますので、指定期日までに受講料をお振込みください。

※指定期日までに入金がない場合、受講いただけない場合がありますので、ご注意ください。
※納入された受講料は、受講辞退の場合でもその全額または一部を申し受けますのでご了承ください。

◆会場のご案内



自動車ご利用の場合

- 北陸・関越自動車道（高速）「三条燕インター」…………… 7.4km（約25分）
- 国道8号線「須頃（三）南交差点」…………… 7.1km（約25分）

※国道289号線（下田方面）に沿って「信越本線陸橋」（東三条陸橋）を渡れば、本校まで7～8分の距離です。また、その辺りから案内標識や電柱看板が出ています。

JRご利用の場合

- 上越新幹線の「燕三条駅」…………… 7.9km（タクシー約25分）
- 信越本線の「東三条駅」…………… 3.8km（タクシー約10分）

◆お問い合わせ



中小企業大学校 三条校 研修担当

〒955-0025 新潟県三条市上野原570
TEL:0256-38-0770 FAX:0256-38-0777

三条校 検索



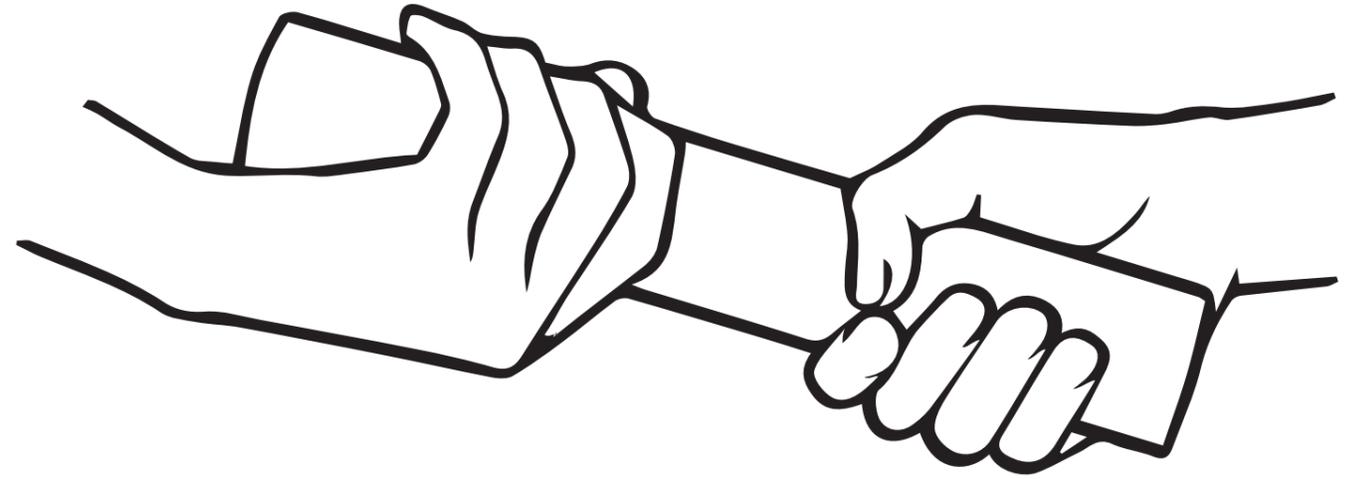
中小企業の研修問屋 中小企業大学校 三条校

コースNo.
18-30

経営後継者およびその候補者の方へ

後継者のための組織風土づくり

～スムーズな事業継承を実現する組織づくりのヒケツ～



Fax:0256-38-0777

中小企業大学校三条校 行

18-30 後継者のための組織風土づくり 受講申込書

フリガナ		組織形態	・法人（資本金 万円） ・個人	従業員数	人
企業名		業種 (○をつけてください)	製造業・建設業・運輸業・ソフトウェア業 情報処理サービス業・卸売業・小売業 サービス業・旅館業 その他（ ）		
代表者氏名		主な取扱商品・サービス			
所在地	〒 -	連絡担当 部署名	(担当者氏名:)		
TEL		研修情報の 入手先 (○をつけてください)	ダイレクトメール・研修ガイド・ウェブサイト 受講者の紹介・商工団体等・金融機関 新聞雑誌・県市等の機関誌 その他（ ）		
FAX		フリガナ	性別		
受講者氏名			男・女		
年齢	所属	役職			
歳			1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補等		
入寮申込書（宿泊ご希望の方）					
入寮日	/ / ~ / / (泊日)	宿泊室の希望	禁煙室	喫煙室	
		緊急時連絡先	-	-	会社・自宅 その他（ ）

募集要項

開催場所 中小企業大学校三条校（新潟県三条市上野原570）

研修期間 平成31年3月12日（火）～14日（木）

時間数 23時間

対象者 経営後継者およびその候補者の方

募集人員 20名

受講料 31,000円（税込み）※受講料は変更になることがあります。

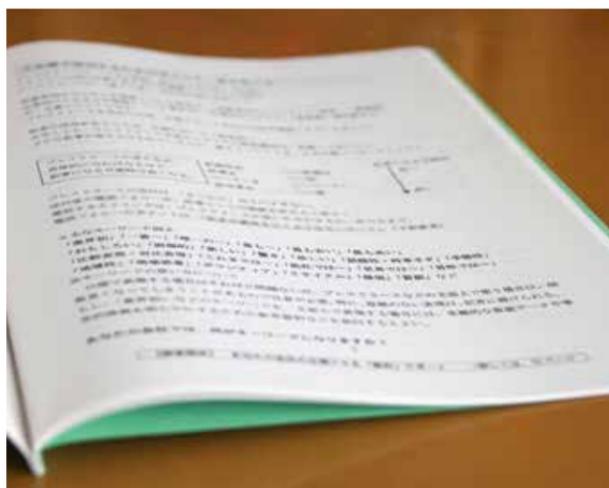
事業を引き継ぐとき・・・ そのとき現場では何が起こっているのか

経営のバトンを円滑につなぐためのヒケツについて、
豊富な事例、経営者の生の声から学びます。

研修のねらい

事業承継は組織を強固にし、会社をさらに発展させる大きなチャンスでもあります。後継者が今後会社をさらに発展させるためには、先代のリーダーシップに依存した受け身体質や目に見えない価値観、ルール、文化などの課題を詳細に把握し、変革していくことが求められます。

本研修では、事業承継の現場で陥りがちな落とし穴や、円滑に承継した事例の研究、ケース演習など通じながら、経営者に必要となる心構えやスキルの本質について理解するとともに、後継者がどのような姿勢で行動すべきかについて学びます。



講師紹介 (敬称略)



ないとう ひろし
内藤 博

事業承継センター株式会社
取締役会長

1952年横浜市生まれ。出版社勤務を経て49歳で独立。事業承継の専門家として、1,000件を超える経営相談、事業承継支援の実績を持つ。自分自身がベンチャーの取締役として、成長発展から縮小リストラまで経験した強みを活かし、相続・事業承継に不可欠な家族会議への参加、親子間の仲介も行う。「事業承継士」の育成がライフワーク。



いししい てるゆき
石井 照之

事業承継センター株式会社
取締役

1969年千葉県生まれ。富山で育つ。勤務先が倒産したのをきっかけに、2003年に中小企業診断士として独立。現場のノウハウをマニュアル化する手法を用いた戦略立案、販路開拓、金融支援が得意。後継者教育と事業承継コンサルティングの両面で奔走中。実務の視点で理論を分かりやすく説明することをモットーとしている。

研修カリキュラム

研修の特徴

- ✓ 事業承継現場の事例を見ていくことで、書籍等ではなかなか得られない、承継現場のリアルな実態を学びます。
- ✓ グループワークを中心とした学習スタイルで、同じ後継者の立場の方々との情報交換、相互アドバイスを通じ、新たな気づきを得ます。



日 時	科目・内容	講 師
3 / 12 (火)	8:50~ オリエンテーション	
9:00 ~ 12:00	後継者から見る事業承継の考え方・進め方 ●後継者とはどんな人なのか? 一宿命を背負う、やさしい人 ●後継者から見る事業承継とは ●後継者に求められる能力と心構え	内藤 博 事業承継センター株式会社 取締役会長
13:00 ~ 17:00	後継者に求められるのは、新しい時代に合った組織風土づくり ●組織が成り立つ要件と組織を変革するために必要なこと ●良い組織風土の裏には考え抜かれた仕組みがある ●後継者自身が組織風土の源泉である ●事業承継の背景、制度・法律等の解説 【演習1】後継者が抱える不安を共有しよう。そして、不安の原因を知ろう 【演習2】自社の組織風土の良いところと改善すべきところを整理し、原因を考え、あるべき風土を描こう 事業承継の背景、制度・法律等の解説も取り入れます。	石井 照之 事業承継センター株式会社 取締役
3月12日(火)17:20~ 受講者交流会 受講者の皆さんの交流を深めていただきます。		
3 / 13 (水)	9:00 ~ 17:00	後継者が組織をまとめるためには“理念”が重要 ●経営理念とは、先代から引き継がれる“守るべき行動規範” ●他社の経営理念を参照する ●経営理念は良い組織風土の源になる 【演習3】先代の理念を大切にしながら、後継者自身の言葉で経営理念を作ってみよう
17:30 ~ 19:30	体験談に学ぶ事業承継の現場 実際に先代から事業を引き継いだ先輩経営者の体験談から、承継時にぶつかった壁、またその壁をどのように乗り越えたかを学び、事業を引き継ぐ前に持っておくべき心構えについて、意見交換を行います。	石井 照之 (同上) 先輩経営者 ※13日 17:30~19:30
ここがポイント! 事業承継を経験した経営者の体験談から、承継に備えて持っておくべき心構え、留意点などを学びます。		
3 / 14 (木)	9:00 ~ 17:00	後継者が陥りやすい落とし穴 ●後継者とはどんな人なのか? ●後継者が陥りやすい落とし穴とは ●事業承継の本質を考える ・相続と事業承継の違い ・価値あるものを受け継ぐ 【演習5】自分自身のことを客観的に知ろう ~本質に目を向けて現実を受け入れる~ 良い組織風土づくりは人づくりから ●人を雇用して人を育てる ●人事評価システムの重要性 ●家族経営を目指すか、実力主義経営を目指すか、折衷型か 【演習6】理想の従業員像を描いてみよう 【演習7】上位5人の従業員を挙げてみよう 自社の価値をさらに高める、組織づくりの準備 【演習8】自身の事業承継計画を考えよう ・これから5年間の計画表を作ろう ・組織風土変革プランを作ろう
ここがポイント! 研修後の活用を見据えながら、自社の事業承継計画を検討、作成します。		